

京丹波町社協だより



本誌は共同募金の配分金によって作られています。



平成27年

1月号

No.30

ほほえみ

第三回福祉まつり開催!!

(ページ参照)



もくじ

- 理事・監事の新春メッセージ… 2
- 第3回福祉まつり…………… 6
- 作業所NEWS…………… 10
- 京都府福祉大会…………… 11
- 第2回家族介護者交流事業のお知らせ… 11
- 寄付お礼…………… 12
- 共同募金報告・お礼…………… 12



たにがき いさむ
谷垣 勇 副会長
 (選出/学識経験者)

災害に強いまちづくり

Tanigaki Isamu

異常気象などに、一昨年、昨年と豪雨により大きな災害を被りました。災害は他人事ではなく、いつどこで起こっても不思議ではない時代となりました。社協は「災害に強いまちづくり」を目指して、地域住民への防災・災害について意識の高揚に努めております。皆様と協働で安心、安全に住めるまちづくりに努めてまいりましょう。(京丹波町水原)



たなか つよし
田中 強 理事
 (選出/民児協)

支え合う地域づくり

Tanaka Tsuyoshi

一段と少子高齢化が進むなか、なんとと言っても地域での支え合いが大切である。今こそ一人ひとりが自分のできること、持てる力を行動にうつすときです。明るくい元気な地域づくりに頑張っていきましょう。(京丹波町鎌谷中)



たけうち しげお
竹内 繁夫 理事
 (選出/民児協)

少子高齢化社会に対応

Takeuchi Shigeo

昨年より理事に就任しております。京丹波町は、まさに少子高齢化に突入しております。多様化する社会情勢や様々な手続きの機械化が進むなかで、高齢者には理解しにくいが増えてきております。そんな中、われわれ福祉に関わる一人として、行政、社協、民生委員が連絡を密にし対応していかななくてはならないと感じております。(京丹波町上乙見)



わたなべ しょうじ
渡邊 昌嗣 理事
 (選出/区長会)

多様化するニーズに応えるため 幅広い社会福祉活動が求められる

Watanabe Shouji

少子高齢化が進行する中で、社会福祉協議会が果たす役割は一段と重要となってきます。一人暮らし高齢者の方、障害者の方が安心して暮らすことができるよう、多様化するニーズに応える幅広い社会福祉活動が求められています。福祉問題等、社会の現状に多少不安を心配されている方もあろうかと思いますが、充実した福祉活動が展開できるよう頑張ります。(京丹波町下山)

謹賀新年 2015年 京丹波町社会福祉協議会

理事・監事新春メッセージ

新しい年のスタートにあたり、社協理事・監事18名から、それぞれのメッセージをお届けします。



はせ たかずみ
波瀬 孝澄 会長
(選出/学識経験者)

年頭にあたり

Hase Takazumi

新春をお祝い申し上げます。

社会経済情勢の激変、家族形態の変化、また個々のライフスタイルを多様な価値観に基づいて選択する傾向が強まるなかで、地域福祉・在宅福祉の推進を図ることを目的に、また協議体としての性格を生かし、これまでと同様に行政、民生児童委員協議会、関係諸団体・諸機関、当事者等と連携・協働した取組みを進めて参ります。(京丹波町豊田)



しょうた やすたけ
正田 恭丈 副会長
(選出/学識経験者)

地域福祉の推進役としての役割を果たしていきたい

Shouta Yasutake

地域福祉とは、地域の人々が住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、地域住民や福祉関係者がお互い協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

地域の民生児童委員をはじめ、社会福祉関係者と共に協働・連携し、これらの地域福祉の推進役としての役割を果たしていきたいと考えています。(京丹波町小畑)



いしだ みえ
石田 美恵 理事
(選出/民児協)

誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを

Ishida Mie

今日、家庭や社会の姿が変化するなか、様々な生活課題を抱え支援を必要とされる方々が増加しています。改めて見守り・支え合う地域支援ネットワークの大切さを実感しています。

福祉関係機関の皆様と力を合わせ、誰もが安心して生活出来る社会を目指して努力していきたいと新年を迎え心新たにしています。(京丹波町蒲生蒲生野)



しかた としかず
四方 敏一 理事
(選出/区長会)

地域と共に躍進する社協

Shikata Toshikazu

新年明けましておめでとうございます。

京丹波町社協も合併10年の節目を迎え、振り返りの大切な一年であるように思います。多様化する福祉へのニーズと期待等々「これで良いのか・良かったのか？」前向きに振り返り、社協が地域の信頼と期待に応え、更に躍進する年でありたいと思います。(京丹波町本庄)



おかもと いさむ
岡本 勇 理事
(選出/老人クラブ連合会)

更に福祉の充実した町へと

Okamoto Isamu

社会福祉協議会では地域の高齢者の方が、安全で安心して日常生活が過ごせるような「福祉の充実した町づくり」の実現に向かって取組み、様々な活動が行われていると再確認した次第です。

社会福祉協議会の役職員の諸氏と協議・検討を重ね、利用される方々の満足につながる福祉サービスが提供できるよう積極的に提言したいと思っております。(京丹波町大朴)



いちたに しずお
一谷 静夫 理事
(選出/福祉団体・機関)

身体の続く限り

Ichitani Shizuo

新春を寿ぎ、ご祝詞を申し上げます。

私ごとですが、昨年は更生援護功労者として厚生労働大臣表彰を受け、天皇・皇后両陛下拝謁という身に余る光栄に浴しました。これも一重に多くの皆さんのお支えによるものと感謝しています。20年以上障害者福祉の課題解決のため、微力ながら取組んできたことが認められたものと思いますが、この受賞を契機に更に老体にムチ打ち、身体の続く限り頑張っていく決意を新たにしています。(京丹波町口八田)



えもと まさあき
江本 正昭 理事
(選出/福祉事業団体)

高齢者福祉の一層の推進を

Emoto Masaaki

京丹波町の高齢化率は37%と高く、高齢化が著しく進行しています。私たちの大先輩である高齢者の皆様が、住み慣れた地域で毎日元気で楽しく暮らしていただけることが大きな願いです。

そのためには、社協が行政、住民の皆様、高齢者福祉施設等と連携しながら各種施策を活用して地域福祉の中核団体としての役割を尚一層果たしていくことが大切です。(京丹波町下栗野)



しもいず
下伊豆 かおり 理事
(選出/町行政)

誰もが健康で、 笑顔で安心して暮らせる 地域づくり

Shimoizu Kaori

明けましておめでとうございます。

社会福祉協議会には、行政と連携した事業、住民の皆さんと連携する事業、そして、独自の助け合い事業があります。誰もが健康で、笑顔で安心して暮らせる地域づくりのために、一人ひとりに出来ること、それを繋ぐ仕組みづくりを一緒に考えていきたいと思っています。(南丹市美山町)



えのもと ふじお
榎本 藤雄 監事
(選出/学識経験)

福祉でつながる地域づくり

Enomoto Fujio

社協も合併してから10年を迎えることになりました。

少子・高齢化は進み一人暮らしの高齢者の方も増加していますが、皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、行政・民生児童委員・ボランティア等と連携、協力して、様々な福祉サービスを推進しています。また、これからの社協の組織運営等のあり方も検討しています。今後ご支援・ご協力をお願いいたします。(京丹波町下栗野)



みずしま まさはる
水嶋 正治 理事
(選出/区長会)

みんなは一人のために、 一人はみんなのために

Mizushima Masaharu

区長会からの理事就任は2度目になります。社協の事業が社会の急激な変化にともない年々新しいものが加わり膨らんでいることに驚きました。そして事業の推進や充実、達成には行政や町民との更なる連携の必要性を痛感しております。社協への多くの人々の理解や協力、支援が得られるよう努めたいと思います。(京丹波町質美)



たばた みこ
田畑 美さ子 理事
(選出/ボランティア代表)

農山村の高齢化の心づくり

Tabata Misako

少子高齢化は、特に農山村で環境問題も含めて深刻な問題です。誰も歳を重ねていく。いつまでも若い人はいない。次第に体力は衰える。地域で、ふれあいサロン・ボランティア活動に参加させていただく中での楽しみを、一人ひとりが持ち続けていってほしいと思っています。(京丹波町蒲生蒲生野)



やました のりこ
山下 典子 理事
(選出/女性の会)

頼れる所が「ある」ということ

Yamashita Noriko

町民の皆さん、安心して下さい。平穏ないつもの生活の中には、社協の役割について思うことは無いかもしれませんが、何かの時には、その機能が充分発揮できるのが京丹波町社協です。

日々生活していく上で、頼れる所があることは何より嬉しいことです。今年も明るく楽しく前向きに暮らしましょう。社協の事業に関心を持ちながら。(京丹波町豊田)



いわた けいいち
岩田 恵一 理事
(選出/町議会)

支え合い助け合いの 地域づくりに向けて

Iwata Keiichi

本町の高齢化率も40%に迫る中、高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画の構築に向けて、住み慣れた地域で高齢者が安心して生活できる環境づくりが最重要課題であります。

互いに支え合い助け合いながら暮らせるための施策の推進に、住民のみなさんのご支援とご協力をよろしくお願い致します。(京丹波町質美)



こばた けいいち
小畑 圭一 監事
(選出/学識経験者)

公会計基準の改革に向けて

Kobata Keiichi

高齢化社会にあって、介護が核家族化等から老々介護や多重介護が増え、家庭内での対応が困難となっている今日、信頼される社協の果たす役割は重大です。

他方、地方公会計制度が大幅に見直され会計基準の変更で従来の財務書類に加えて企業会計に準じた財務諸表の作成が求められています。ご苦勞ですがよろしくご理解の程を……。 (南丹市園部町)



第3回 福祉まつり

主催 京丹波町社会福祉協議会・京丹波町ボランティアバンク運営委員会
後援 京丹波町・京丹波町健康づくり推進協議会

防災は自助・互助・協働のまちづくり
力をつなげる・助けあう・ともにつくる！
講師 正木 明氏



第3回

福祉まつり

災害について知り、自分を守り、地域を守る

平成26年11月9日(日)／竹野小学校体育館ほか

主催 京丹波町社会福祉協議会
京丹波町社協ボランティアバンク運営委員会
京丹波町
後援 京丹波町健康づくり推進協議会
石井食品株式会社
竹野活性化委員会
協賛
協力

三回目を迎えた今年の福祉まつりでは「災害に強いまちづくり」をテーマに、竹野小学校や周辺施設を会場として開催しました。

冷たい雨が降るあいにくの天候となりましたが、町内外から関係者含め約400名の参加があり、メイン会場となった竹野小学校体育館では「和太鼓舞夢」さんの可愛くも勇壮な和太鼓演奏で幕を開けたあと、永年にわたり京丹波町のボランティア活動にご尽力いただいた個人23名・ボランティアサークル2団体（8ページに受賞者名簿掲載）に感謝状を授与しました。

その後、午後から行った記念講演では「おはよう朝日です（テレビ朝日）」のお天気キヤスター正木明氏（気象予報士・防災士）を講師に招き『防災

防災コーナー

竹野小学校に隣接する竹野基幹集落センター（若竹センター）のホールでは、防災コーナーとして災害ボランティアセンターの展示や防災ワークショップを開催しました。

災害ボランティアセンターの紹介



災害などの非常時に立ち上がる京丹波町災害ボランティアセンターの紹介と、社協が備蓄している災害復旧活動に必要な資機材の展示を行いました。

新聞スリッパ作りを体験



防災ワークショップでは、避難所などで活用できる新聞紙を使ったスリッパ作り体験コーナーを開き、多くの方に体験いただきました。

石井食品の非常食を試食



今回の福祉まつりに協賛いただいた『石井食品株式会社』様より、販売されている非常食を無料で提供いただきました。一口サイズの小分けし、来場者へ試食いただきました。



2
『大雨で浸水する』ということや、
「大木氏は、基本的な天気予報の見方や災害時に役立つ天気予報の活用について紹介し、災害が多く発生する現在、特に気をつけたいことは、「特別警報」の運用がスタートしたことで、これまでの「警報」が軽視されがちになっていることや、

は自助・互助・協働のまちづくり」と題して講演いただきました。

1) オープニングを飾っていただいた和太鼓舞夢の演奏 / 2) 正木氏からは「自然災害の中で、気象災害だけは予測できる。天気予報を活用し、早目の対応が大事」と述べられました / 3) 雨天のなか、たくさんの方々にご来場いただきました

報が出ても「これまで水に浸かったことが無いから大丈夫」と経験を過信され被害に遭われるケースが多いと述べられました。
また、そのような中で、災害が起きた時の重要な心構えとして、「まずは自分の身は自分で守る。自分の身が守られることで、初めて家族や地域を助けることができる。」と話され、そのためにも気象災害は天気予報によって防ぐことのできる自然災害であり、自らの身を守るために重要な情報の一つとして今後もうまく活用してほしいと講演を締めくくられていました。





▲受賞されたボランティア団体を代表して、七八会の藤井代表に感謝状を授与しました



▲個人ボランティアを代表して、藤田房子様（尾長野）、竹野美都子様（質美）、野間やす子様（本庄）に感謝状を授与しました

ボランティア活動功労者表彰 受賞者名簿

敬称略

個人(23名)

七八会
《和知地区》
押し花カード作りボランティア天花

《ボランティア団体(2団体)》

《本中》	《市篠》	《市原》	《市場》	《市谷》	《市美》	《市野》	《市台》	《市西》	《市村》	《市瀬	《市阪	《市倉	《市須	《市高
藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山	藤山
真奈美	やすみ	あつみ	好都夫	五都子	勝美子	美都子	惠美子	幸美子	末子	和一子	定美子	房津子	勢敏子	京光王

敬称略



①

竹野の魅力伝える 竹野サロンも 同時開催

竹野小学校の近くにある「京都丹波・食彩の工房」では、竹野活性化委員会のみなさんが毎週木曜日に『竹野サロン』を開設されており、福祉まつり当日も特別にサロンを開いていただきました。

淹れたてのコーヒーや黒豆茶が飲める喫茶として多数の来場者が訪れ、地域住民による地域活性化の取り組みにもふれていただきました。

①多くの来場者で賑わう竹野サロン。外は冷たい雨が降っていたため、温かい飲み物で来場者の顔もほころんでいました/②竹野サロンスタッフのみなさまが1杯1杯ていねいにコーヒーや紅茶、黒豆茶などを淹れておられました/③福祉まつり当日は、竹野小学校と竹野サロン間を社協職員が無料のシャトルバスで送迎しました。



③



②

第三回 福祉まつり



①子育てサークルさくらんぼによる牛乳パックを利用した工作は小さなお子さんに大好評！！②くるみの会からは災害時に家庭で常備されているもので簡単にできる『さば缶のドライカレー』を試食コーナーで紹介③ファミサポ会員も紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました④体育館内では社協の事業や各種ボランティアサークルの活動をパネル展示で紹介⑤ヘルメットを被った「ここたん」も防災コーナー入口でお出迎え⑥今回も模擬店を多数出店いただき、まつりを盛り上げていただきました⑦要約筆記サークルの皆さんには、式典や講演会で内容を文字に書いて情報提供をいただきました⑧南丹船井レクリエーション協会の方に、レクリエーションコーナーの運営を協力いただきました⑨保健師さんによる健康相談コーナーでは骨密度や血管年齢、血圧の測定を行いました⑩⑪あいにくの天候でしたが、会場の内外は多くの方で賑わいました



作業所 秋の 研修旅行!

映画村や日清の
工場を見学しました。
和気あいあいと楽しい
旅行になりました。

丹波本所



吉本新喜劇、博物
館を見学し、夜は歌っ
て踊ると楽しく賑や
かな研修旅行になり
ました。

瑞穂支所



須磨水族館やヨー
デルの森に行きました。
天気にも恵まれ楽しい
旅行でした。

和知支所



NEWS 共同作業所



京丹波町共同作業所では：
障がいを持つ方々が地域の一員として
自分らしい生活がおくれるよう、就労
訓練や生活能力向上のための援助を行
っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

第63回 京都府社会福祉大会



(敬称略・順不同)

◆社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

社会福祉事業特別功労者 上西みち代 (社協職員)
大和三恵子 (社協職員)

ボランティア団体 押し花カード作りボランティア天花 (和知地区)
七八会 (和知)

◆京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

社会福祉事業特別功労者 梅原 洋一 (社協職員)

ボランティア団体 蒲生ボランティアグループ (丹波地区)

◆京都府共同募金会会長表彰・感謝

法人・団体寄付 梅田仏教会 (瑞穂)



▲左から、受賞された蒲生ボランティアグループ代表林様、七八会代表藤井様、押し花カード作りボランティア天花代表藤田様

平成26年度第2回家族介護者リフレッシュ事業開催のお知らせ

information



『ヨガ』で心身ともにリフレッシュ

在宅で現に介護されている家族介護者を対象に、日頃の介護疲れを癒し心身ともにリフレッシュしていただくことを目的に開催します。

日時 平成27年 **3月10日(火)**

会場 京丹波町健康管理センター (須知)

内容 ・ヨガ体験教室
・介護者交流 (昼食付)

定員 先着30名となります。

対象 在宅で高齢者を介護されている家族介護者

参加費 1,000円

申込み 2月13日(金)までに京丹波町社協各支所へお申込み下さい。



善意のご寄付

ありがとうございます！

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(平成二十六年九月一日～十二月三十一日まで)

◆本所・瑞穂支所扱い

数字で見る 京丹波の福祉



平成27年1月1日現在 ※()内は前号(H26.9.1)との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体
人口	7,700人 (-45)	4,573人 (-39)	3,281人 (-35)	15,554人 (-119)
65歳以上人口	2,567人 (-2)	1,814人 (+5)	1,454人 (-3)	5,835人 (±0)
高齢化率	33.3% (±0)	39.7% (+0.5)	44.3% (+0.4)	37.5% (+0.3)
ボランティア登録者数	0~14歳	13 (±0)	0 (±0)	0 (±0)
	15~64歳	103 (±0)	70 (-3)	60 (±0)
	65歳以上	179 (+3)	105 (+4)	141 (±0)
	合計	295 (+3)	175 (+1)	201 (+1)



共同募金にご協力 ありがとうございました

今年度(平成26年)の募金総額

H26.12月末現在

■赤い羽共同募金 **3,132,916円**

戸別募金 3,004,630円 | イベント募金 37,640円
街頭募金 15,778円 | 個人・その他 74,868円

この内の約8割が、来年度京丹波町に配分され地域福祉活動の推進に活用されます。

■歳末たすけあい募金

1,412,555円

今回集められた募金は、全額京丹波町の援助に使われます。

